

2021年度

北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（前期）

（口述試験その他）行動科学研究室・英語文献読解等 全3枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 3枚、解答用紙 3枚を配付する。

問1と問2の両方に答えなさい。各問に対する解答は、最初に問番号を明記した上で、別々の解答用紙に記入すること。

問1 以下の英文は、ある研究論文の序論の冒頭部分である。これを読んで、次の1)~3)に答えなさい。

- 1) ここで著者が批判している先行研究はどのようなものか。批判対象である著名な研究を一つ取り上げ、その目的や手続きの概要と、この論文が指摘している問題点を説明しなさい。その際、当該の研究に関してあなたが個人的に知っていることを補足してもかまわない。
- 2) ここで著者たちが分類している二種類の社会的影響の名称と、その定義を説明しなさい。
- 3) 本研究で検討する二つの仮説の概要を説明しなさい。

* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

（次のページへ続く）

（前のページからの続き）

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典：Deutsch, M., & Gerard, H. (1955). *Journal of Abnormal and Social Psychology*,
51(3), 629-636. より一部抜粋

[次のページに進む](#)

問2 以下の英文は、ある研究論文の一部である。カナダ人および日本人参加者を対象としたこの実験研究では、第1段階として、各参加者にRAT課題（下記の補足参照）を行わせた後、各国半数ずつの参加者に対して、無作為に、successもしくはfailureの成績をフィードバックした。そして第2段階として、同じ課題に自由に取り組む時間を設けた。以下は、この第2段階において参加者が自発的に課題に取り組んだ時間を左右する要因を分析した結果の一部である。この内容について、次の1)と2)に答えなさい。

- 1) 文化(culture)×条件(condition)の分散分析の結果、どのようなパターンが見いだされたか。文中の“Figure 1”に相当する図を自ら作成した上で、結果の概要を日本語で簡潔に説明しなさい。
- 2) 1)の結果を著者たちがどう解釈しているかを日本語で説明しなさい。

【補足】以下で用いられている RAT (Remote Associates Test)とは、元来は人の洞察力を測定するために開発された課題である(Mednick, 1962)。しかし本研究では、課題に対する参加者の自発的取り組みの程度を測定するために用いられている。

* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典：Heine, S. J., Kitayama, S., Lehman, D. R., Takata, T., Ide, E., Leung, C., & Matsumoto, H. (2001). *Journal of Personality and Social Psychology*, 81(4), 599-615. より一部抜粋

以上